

【年末年始のお知らせ】
仕事納め 12月27日(金)
仕事初め 1月6日(月)
 年末の事務処理は12月26日(木)まで
 新年の通常業務は1月7日(火)より

建設長崎

December No.582
 2013年12月15日
 1部20円 組合員の購読料は組合費に含まます
 印刷●株昭和堂 TEL 095-821-1234

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 http://www.kensetunagasaki.org/ 発行責任者●北村政和 編集人●若杉孝雄

住宅リフォーム支援事業の拡充継続を

若手後継者育成の環境づくりを

長崎県へ要請

十一月七日(木)午前十一時十五分から約三〇分、県庁特別応接室で、(一社)長崎県中小建設業協会と長崎県建設産業労働組合の相川会長(委員長)他役員二十名と、改革21県議団代表五名は、石塚副知事他六名の県幹部に要請を行った。



県庁特別応接室で石塚副知事に要望事項を申し入れる代表団

リフォーム支援制度 五億円への拡充要請

県議会連立会派が十四年度予算要望



県議会連立会派(小林克敏会長)は二十一日、二〇一四年度当初予算に関する要望書を中村法道県知事に提出した。その中で、住宅性能向上リフォーム支援事業費については、県内各市町で需要が大きく、景気対策としても有効なことから、小規模改修事業費を充当し、十三年度の三億円から五億円に拡充することを求めた。

これに対し、中村知事は「十四年度予算について整理して要請いただいた。選挙後の予算にしっかりと反映していかなければならない」と思っている。予算の編成過程の中で精査し、報告させていたと答えるに留めた。

11・7



石塚副知事に要望書を手渡し、「若手技能者の入職問題が最重要課題で、若手が建設業界に入っていない原因は待遇・賃金の問題。技能の継承は短期間ではできない。県内では大型工事も控えており、配慮をお願いしたい。県住宅性能向上リフォーム支援事業は、大反響で、短期間で予算を消化した。各市町のリフォーム事業の刺激となるので、増額・継続を」と訴えた。

石塚副知事は「公共工事に関わる業界は持続可能な形で取り組みを進める。発注者と受注者の共通の課題であり、現場が気持ち良く仕事ができる環境作りが核となる」と答え、分離・分割発注やC・Dランクへの受注機会の拡大、総合評価における賃金支払いの誓約、労務費調査への適正な記入指導などの取り組みを行っており、「設計労務単価の引

- 要請事項**
- 1 中小建設事業者への工事発注に関する要請
 - ①分離・分割方式発注への配慮
 - ②若手後継者が育つための労働条件の環境づくりへの指導
 - 2 公共工事設計労務単価の引き上げと適正単価の設定
 - 3 住宅リフォーム事業助成の予算増額と制度拡充等を訴えた。

長崎市へ要請



長崎市岡田副市長に要請書を手渡す相川委員長

十一月十三日(水)午後一時三十分から約三十分におわった長崎市役所第二応接室で、(一社)長崎県中小建設業協会と長崎県建設産業労働組合の相川会長(委員長)他役員二十名と、源城・佐藤・野口市議の三名は、岡田副市長他八名の長崎市幹部に要請を行った。

要望書を手渡し、「分離・分割発注と若手後継者が育つための賃金・労働条件の環境作りへの指導、また、本県の公共工事設計労務単価が九州で最下位な

国保予算獲得のハガキ要請、ご協力ありがとうございました。

ので、適正な価格で支払うことができるよう配慮を。一昨年から緊急経済対策として実施されたがさき住みよ家リフォーム補助が、大きな反響と経済効果を生み、継続拡充を」と訴えた。

これに対し、岡田副市長は、「①分離・分割発注に取組んでいるし、今後もそうする。長期的な観点から人材不足には対応認識している。②労務単価の引き上げは、国の方針に併せて

対応する。③リフォーム事業の継続については、経済情勢を見ながら長期的な観点から判断する。」と考えを示した。

再度、相川委員長から、人口減少、未婚者の増加、戸建て新築の減少等の動向とリフォーム事業の重要性を再要請した。

市議団からも「中央の景気が地方まで波及するには時間が掛かり、県内には大型事業が控えている。今の

11・13

職人のための 部別講習会



講演する戸田知治(二級建築士)講師 於組合本部二階

増改築相談員 研修会



あいさつする相川委員長

持ち家に住む三〇代以上の人が約六五%おり、リフォーム市場は年々増加の傾向にあります。

そこで、国土交通省の「木造住宅等の施工能力向上・継承事業」を活用し、九州初の講習会を十一月三日(日)午前十時〜午後四時まで、組合本部で行いました。県下より二十九名の組合員が「外装」「構造」「設備」「内装」の部別に積算の基準を学びました。

十一月十日(日)午前九時より時津町北部コミュニティセンターで、新規十二名、更新四十六名が出席して、増改築相談員新規・更新研修会が開催されました。

この研修終了後、考查に合格すると増改築相談員として登録され、自治体、消費生活センター等に名簿が備えられ、また、HP「リフォームネット」に「安心して工事が依頼できる事業者」として紹介されます。

労働安全推進大会



十一月十二日(火)午後七時から、セントヒル長崎において長崎地区・県央地区の労働保険加入事業所を対象とした。

この大会は、東北地区と隔年おきに開催する大会で今年度は、長崎・県央地区で開催しました。

大会では、労働安全推進大会のあひさつで始まり、記念

- 〈労働安全功労賞受賞者〉** (敬称略)
- 馬場建設 馬場 秀行 (中央支部)
 - 工藤建設 工藤 是正 (天浦支部)
 - (有)山口ハウジング 山口 義弘 (市南支部)
 - 和幸建設 牧島 貢 (東長崎支部)
 - 山形建設 山形 信 (浦上西支部)
 - (有)佐藤吹付工業所 佐藤 光子 (浦上東支部)
 - 相川建設 相川 守 (西彼支部)
 - 石丸建設 石丸 久 (謙早支部)
 - 伊藤建設 伊藤 一廣 (大村支部)
 - 城工務店 祐輔 (島原支部)

一〇〇名の仲間が安全を誓う!

十一月十二日(火)午後七時から、セントヒル長崎において長崎地区・県央地区の労働保険加入事業所を対象とした。

技能祭 ものづくりフェスタ2013



「技能祭」ものづくり フェスタ2013」が十 町ベルナード観光通りで開催されました。

今年で十二回目となる会場には、県内各技能士会や長崎工業高校、総合科学大学など十八の団体が出展。

午前十時三十分からの開会式では、県産業労働部の山田信裕部長が「若者が進んで技能者を目指すことでできる環境整備に取り組んでいる。ものづくりの面白さ、楽しさ、大切さを身近に感じてほしい」と中村知事のメッセージを代読。

相川会長は「毎年多くの参加者で人気がある。子供たちがものづくりにふれ、その中から興味をもって技能者を目指す若者が出てきてほしい」と話していました。午後五時まで、子供たちとかなづちの音を響かせながら約八十組の腰掛けを作りました。

ものづくりの楽しさにふれ 若い人に技能者を目指してほしい

長崎技能士会は、長崎市内支部から九名の組合員の皆さんに指導をお願いして万能腰かけづくりを実施。植木鉢を飾ったり、踏み台にしたり、庭の草取り用の腰かけに利用したりと子供からお年寄りまで、毎年楽しみにしている人もいました。

相川会長は「毎年多くの参加者で人気がある。子供たちがものづくりにふれ、その中から興味をもって技能者を目指す若者が出てきてほしい」と話していました。午後五時まで、子供たちとかなづちの音を響かせながら約八十組の腰掛けを作りました。

第四十二回 長崎県技能士大会

人材育成と技能継承を!



技能尊重の気運を高め、技能者の雇用の安定・社会的地位の向上を目指すことを目的に十一月二十日、第四十二回長崎県技能士大会が長崎市のホテルニュー長崎で開催されました。

大会は長崎県、県職業能力開発協会の主催で開催され、知事が「若者のものづくり離れや熟練技能者の高齢化が進む中、次世代の育成は喫緊の課題となっている。今後とも優秀な技能者を発掘され後進の指導と本県の産業発展にご尽力願いたい」とあいさつ。

県職業能力開発協会の前田富雄会長は「東日本大震災以降も台風豪雨等の災害で終息のめどは立っていない。技能者の人手不足が言われる中、人材育成と先人が守ってきた技能を絶やすことなく継承していただきたい」と述べました。

平成二十五年前期技能検定では一級九十八名、二級一二七名、三級二二五名、単一級十三名の合計四六三

寒い中多くの来場者

十一月十七日(日)、佐世保東支部では、事務所近くの直売所「わくわくふれあい」の駐車場を借りて住宅デーを開催。

前週末までの温かさから一転し、当日は朝から雨が降る寒い状況となり、来場者が来ないのではと心配しましたが、普段の行いの良さが並んでいきます。

また寒い中、来場した方には、恒例の主婦会による豚汁が振る舞われ、好評でした。

全ての包丁を研ぎ終えた後は、冷えたからだに染み渡るあったかい豚汁とおにぎりでお腹をみだし無事に住宅デーを終了しました。

研ぎ手の組合員さん達は休む間もなく包丁を研ぎ上げていき、机の上には次々ときれいに仕上がった包丁が並んでいきます。

佐世保東支部 住宅デー



- 〈参加者〉** (敬称略)
- 茅原喜志男 長島 則行
 - 田中 秀幸 小谷 守
 - 迎 稔 丸田 勉
 - 富永 幸雄 田中 光輝
 - 丸田 政洋 田中 勇男
 - 一本松 淳 浩樹
 - 迎 良子 丸田 洋子
 - 茅原 雪江 田中まゆみ
 - 田川フジ子

第21回 GAMADAS まちづくり・住まいづくりフェア

多くの体験者で賑わう

十一月十日(日)、島原市のふれあいホールサンプラザ万屋駐車場賑やかに開催されました。同フェアの環境で毎年「すみたいいえ」

十一月十日(日)、島原市のふれあいホールサンプラザ万屋駐車場賑やかに開催されました。同フェアの環境で毎年「すみたいいえ」



▲スノコづくりに真剣に取り組む子供たち

絵画コンクールが開催されるため、表彰式の会場は入賞した正装の子供たちで会場は和やかな雰囲気につつまれました。

会場は住まいに関する多くのブースが軒を並べ、住宅リフォーム相談、木造住宅の耐震改修相談などが行われました。建設長崎島原支部と(一社)長崎県中小建設業協会島原支部協会は、木造軸組による耐震実演や深江建築組合が中心となって、プロの大工さんが実演する工作教室を開催。「すのこ作り」本立て作りを行いました。多くの体験者で賑わいました。当日の天気予報は雨でしたが、

雨が降ることもなく無事に開催することができました。信を広く皆様に提供できたと思います。

(立野)



中央支部茂木分会 地域に根付いた住宅デー

十一月三日(日)文化の日、中央支部茂木分会では「茂木ふれあいまつり」に協賛して住宅デーを開催。フェリー乗り場を会場に、包丁研ぎ・まな板削り・木工販売等を行いました。

この日は朝から雨で、催しも別会場での開催。そのため来客が心配されましたが作業準備が整った頃にはそれも杞憂に終わり、十時前からいつもの漁師町ならではの、重くて太い包丁から、分厚いまな板がどんどん並んで順番待ちしていました。組合員・主婦会の皆さんいつも通りバタバタの作業。途中、出店ブースのかまぼこや飲み物で休憩を

大村支部萱瀬分会 大盛況の住宅デー



スノコ、プランター作りに励む参加者の皆さん

十一月十日(日)第一回目の「萱瀬地区文化祭」の中で、萱瀬分会の住宅デーを開催。会場となった「萱瀬小学校」に、八時頃から組合員さんが集合。あいにくの雨模様でしたが、開会の九時には会場全体盛り上がりを見せていました。

萱瀬分会が無料で行った、親子木工教室も、なれない金つちを振りながら完成させる子供さん、お父さんの手を借りて頑張る子供さんの姿が見られるなど、多くの方が順番待ちで参加され、用意していた「すのこ二十三枚、プランター二十七個」は、昼食を取る暇もないほどの盛況ぶりでした。

また「漆喰壁塗り」の体験教室もその難しさに皆さん一様に驚きながらも、指導を受けながら上手な「こて捌き」で塗り上げていました。今回は分会からの自主的な取り組みでしたが、次回に繋げるべく参加者皆さんで、井戸端反省会も開催されました。

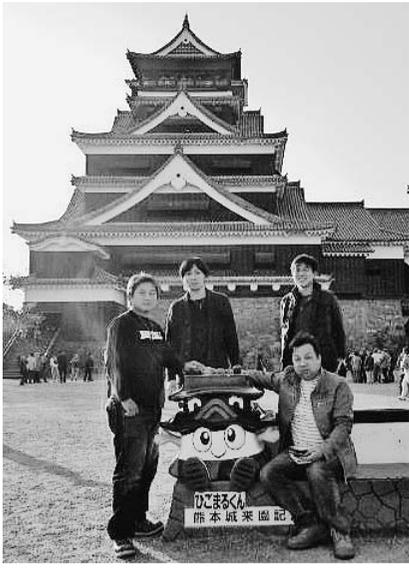
十二月十七日(日)から十八日(月)、えびの森岡城と球磨川下りをメインに旅行。一日目は、雷鳴が轟き天気を心配しましたが、バスに乗るころには雨も止み、全員バスに乗り。さっそく乾杯で、ビールの缶を開ける音があちこちで上がり、昼食会場に着くころには千鳥足の人が二、三人。森岡城では、柱や梁の大きさに驚きつつも、大工、設計士からの目線、各々専門の目で建築物をじっくり

(測上)

支部だより



大浦支部青年部は、十一月十六日(土)・十七日(日)、三たび秋風を感じながら天年ぶりの旅行会を開催。書草・鬼池港に。方面へ。天草といえば「天草四郎」、天草キリシタン館を見学し、キリシタンの歴史・展示を学ぶ。昼食は大海老の天井



▲熊本城をバックに

大浦支部 青年部旅行

三年振りの旅行でリフレッシュ!

で腹ごしらえ。天草は車海老の養殖、日本有数の産地。お腹も満たされた後は「天草五橋」を見ながら熊本城へ。天守閣や本丸御殿、柱の継手など真剣に見入りました。二日目は、朝から雨のため予定変更。バイキングで栄養補給後、物産館に立ち寄り、繁華街を自由散策後、高速度道路で長崎まで一直線。車中はゆりかごに早変わり。皆各々土産を手に解散。久々の旅行でリフレッシュでき、楽しく親睦をはかる有意義な時間を過ごすことができました。

佐世保北支部 旅行会 ~大分でも賑やかな人々~



▲昭和の町豊後高田市で記念撮影

今回の旅行は十一月四、五日、天気にも恵まれた二日間、大分県は佐賀関から北上し別府、国東へ。佐賀関と言えど勿論「関サバ・関アジ」。奮発して

昼食に予定。一口食べてみずかさずバスガイドさんが「サルより俺を見ろって言うのね」と言い放つてから新鮮なお刺身を食べている佐世保人には感動も薄く、懐具合に手痛い深手を負いながら、地元で食べている魚が十二分に美味いと改めて気付かされた昼食となりました。

二日目は、国東半島の寺院を巡り両子寺、富貴寺へ。どちらも天台宗・六郷満山の寺院で仁聞の開基と言われる歴史ある寺院です。元々あった山岳信仰の場が奈良時代以降に天台宗寺院としての形態を取る様になったもので、近隣の八幡信仰と融合し神仏習合の独特の山岳仏教文化が築かれたとの事です。

最後の観光地、豊後高田の町で他所のバスの運転手さんがウチの迫力に圧倒されて怖いと漏らしていたと。大丈夫、嘸み付きやしませんよ。多分ね。(笑) 後で聞いた話では、昭和の町で他所のバスの運転手さんがウチの迫力に圧倒されて怖いと漏らしていたと。大丈夫、嘸み付きやしませんよ。多分ね。(笑) 後で聞いた話では、昭和の町で他所のバスの運転手さんがウチの迫力に圧倒されて怖いと漏らしていたと。大丈夫、嘸み付きやしませんよ。多分ね。(笑)

(小野)

北松支部 ~ガイドも元気さに驚嘆~



▲青井阿蘇神社前にて

十二月十七日(日)から十八日(月)、えびの森岡城と球磨川下りをメインに旅行。一日目は、雷鳴が轟き天気を心配しましたが、バスに乗るころには雨も止み、全員バスに乗り。さっそく乾杯で、ビールの缶を開ける音があちこちで上がり、昼食会場に着くころには千鳥足の人が二、三人。森岡城では、柱や梁の大きさに驚きつつも、大工、設計士からの目線、各々専門の目で建築物をじっくり



▲大村 グラウンドゴルフ受賞式

十一月三日(日)組合員相互の懇親を目的に「グラウンドゴルフ大会」を予定していましたが、あいにくの雨となり、内容を変更してのレクリエーション大会となりました。

組合員さんも集まり始め午前九時三〇分に、伊藤支部長のあいさつの後、教室内にゴルフポストを設置し「ホールインワン競争大会」が始まります。組合員・主婦・子供達も含め、五十二名のうち十一名が、見事ホールインワンを決め賞を獲得しました。その後も、おかわり続出の「豚汁」を味わいながらの、ビンゴ大会で盛り上がりました。思いもよらないところで、お小遣いを獲得した子供達、そして、分会対抗〇×クイズでは、大村第一分会が第一位から第三位まで独占勝ちするなど、嬉しいハプニングもありましたが、参加された皆さんの笑顔が絶えない一日でした。(井関)



▲平戸・北松支部プラチナ友の会

十一月三日(日)組合員相互の懇親を目的に「グラウンドゴルフ大会」を予定していましたが、あいにくの雨となり、内容を変更してのレクリエーション大会となりました。

十一月十三日(水)に平戸海上ホテルにおいて、北松支部と平戸支部合同で、プラチナ友の会を催しました。

北松・平戸支部合同 プラチナ友の会

北松・平戸支部合同

井関

ズでは、大村第一分会が第一位から第三位まで独占勝ちするなど、嬉しいハプニングもありましたが、参加された皆さんの笑顔が絶えない一日でした。(井関)

2013年の主な出来事



- 建設長崎新春旗開き(5日)
- 各支部旗開き(10日~24日)
- 中小建設業協会新春研修会・交流会(18日)
- 主婦会新年の集い(30日)

1月

旗開き

- 西海市長要請行動(5日)
- 所得税申告受付(6日~28日)
- 各支部賃金拡大会(13日~28日)
- 時津町長・佐々町長要請行動(18日)
- 長建国保第86回組合会(26日)

長建国保第86回組合会

特定健診の推進で組合員・家族の健康増進をはかろう



国保組合会

2月



- 消費税申告受付・一括申告(8日~22日)
- 長建国保保険証検認受付(11日~29日)
- 所得税一括申告(12日)
- 建設業許可変更届受付(個人)(6日~29日)

3月

所得税一括申告



- 25年度特定健診スタート
- 長崎市住みよ家リフォーム補助継続
- 4・2組織拡大・仕事確保総決起集会(県住宅リフォーム助成制度説明会)(2日)

4月

四・二総決起集会

- 春期お得意先回り行動
- 労働保険年度更新受付
- 第84回長崎地区メーデー(1日)
- 建設長崎ミニバレー交流会(19日)
- 九地協青年部交流集会(19日~20日)

建設長崎青年技能競技大会



技能競技大会

5月



- 九地協企業交渉(6日~7日)
- 青年部大会(25日)
- 全建総連全国主婦会交流集会(16日~17日)
- 主婦会総会(27日)

6月

青年部大会



- 全建総連中央総決起大会(3日)
- 建設長崎第68回定期大会(14日)
- (一社)長崎県中小建設業協会第1回定期総会(30日)
- 長建国保第87回組合会(30日)

7月

建設長崎定期総会

- 原爆殉難者慰霊祭(8日)
- 浦上川万灯流し(9日)
- 各支部大会(20日~9月13日)



原爆殉難者慰霊祭

8月



- 県央振興局長・諫早市長交渉(4日)
- 全建総連青年技能競技大会(22日~24日)
- 主婦会日帰り研修会(27日)

9月

青年技能競技大会



- 組合・協会研修会(国土交通省伊藤課長)(3日)
- 住まいるフェスタ(佐世保会場)(13日)
- 第54回全建総連大会(16日~18日)
- 組合員家族大運動会(20日)
- まちづくり総合住宅フェア(長崎会場)(26日~27日)

10月

組合員家族大運動会

- 職人のための部位別リフォーム講習会(3日)
- 長崎県知事要請行動(7日)
- 増改築相談員研修会(10日)
- 長崎・県央地区労働安全大会(12日)
- 長崎市長要請行動(13日)
- ものづくりフェスタ(17日)



ものづくりフェスタ

11月



- 各支部忘年会開催
- 全建総連予算要請中央行動(4日)
- 県産連県知事要請行動(13日)
- 福岡国税局交渉(16日)
- 仕事納め(27日)

12月

予算要求行動